

2022-23 INTERNATIONAL ROTARY DISTRICT2770
ROTARY CLUB OF IWATSUKI
since 1963



Weekly Report



クラブ・スローガン Love ~愛をもって今を生きる~

会長 田畑寛樹
幹事 関根信行

例会場：割烹「ふな又」 例会日：木曜日 第1・第2 12時30分 第3 18時00分点鐘
事務所：さいたま市岩槻区本町3-8-2-203 TEL048-758-0680 FAX048-758-0681
http://www.iwatsuki-rotaryclub.jp Mail:info@iwatsuki-rotaryclub.jp

田畑寛樹年度第20回

通算2826例会

令和6年1月18日

会長の時間 第61代会長 田畑 寛樹

親愛なる皆様、こんにちは。
本日も皆様にお会いできたことに感謝を申し上げます。



本日はお客様として、大宮西ロータリークラブ会長藤嶋剛史様をお迎えしております。ようこそ岩槻ロータリークラブへ。私たちは藤嶋様の訪問を心から歓迎致します。どうぞ時間の許す限り自慢の岩槻ロータリークラブを楽しんでいただけましたら幸いと存じます。

先日はプログラム・親睦委員会主管の1月11日(木)第1例会(新年例会)にたくさんのご参加をいただきまして、誠にありがとうございました。例会を開催するにあたり、小林篤部門委員長、三浦委員長、内藤副委員長を始めとする委員会の皆様による企画の立案から当日の準備に至るまで、誠にありがとうございました。お陰様でとても楽しい時間を皆で過ごすことができました。

この日は鏡開きでもあり、昨年ふな又様の神様へお供えをして、歳神様のパワーがたくさん入ったお酒(鏡酒)をいただき、皆様の無病息災を願うこともできて、この一年、2024年もとても楽しみです。

最近の出来事で気づきを得たことがございましたので紹介したいと思います。

本日はこの後理事会がございます。その上程する議案書の中に管理運営委員会主管のものがあります。伊藤真守委員長は未だ理事ではないので、議案書の作成はしても小林篤部門委員長が上程をいたします。議案書を作成するにあたり伊藤委員長、委員会メンバーである鈴木直前会長とやり取りをさせていただきましたが、たくさんアイデアが出てきましたのでどうなるのかとても楽しみでした。いよいよ作成する段階まで来た時には正副委員長への指導を含めながらの鈴木直前の姿勢は、面倒見が良く頼りになる先輩であると同時に、百戦錬磨の経営者の顔も見せていただいて、私自身勉強をさせていただきました。そして、みんなで協力することの素晴らしさを会長になってからも日々体感させていただいている次第です。私は皆様の事を信じております。みんなが主役、下期はもっと皆様をお願いをさせていただきます。そして、それらを私は全うします。

藤嶋様、本日はパスト米山記念奨学部委員長としての卓話をとっても楽しみにしております。

それでは最後に、『私たちは、利他の心を養い、人を育てるとともに、献身的な奉仕活動を行う世界的な団体です。』『私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。』

世界(all)が愛に溢れ、幸せでありますように。
以上で会長の時間とさせていただきます。
皆様、本日も何卒よろしくお願い申し上げます。

幹事報告

幹事 関根 信行

- ① 2024年1月のロータリーレートは、1ドル=141円です。
- ② 日韓青少年交換訪日団日程表、岩槻に来る方の仔細です。お目通しをお願い致します。
- ③ 2023-2024年度国際ロータリー第2770地区第3・第4グループインターシティ・ミーティングが2024年2月2日開催されますのでご出席をお願い致します。
- ④ 佐藤芳郎国際ロータリー理事主催日本人親善朝食会2024年5月26日7時開場 7:30開会 9:00閉会(シンガポール国際大会)申込締切は2月15日
- ⑤ 岩槻東RCより「1月23日に中里パストガバナーが卓話に来ます。メーカーシップに来ませんか?」とお誘いがありました。参加希望の方は1月18日迄に事務局までお知らせください。
- ⑥ 国際ロータリー第2770地区会員増強維持部門よりワイン同好会のお誘いが来ております。2024年3月1日18時からです。〆切は2024年1月31日です。
- ⑦ 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会よりハイライトよねやまが来ております。
- ⑧ RI日本事務局より財団室NEWSが届いております。
- ⑨ 城下町岩槻鷹狩り行列実行委員会より協賛お礼が届いております
- ⑩ 大宮北RC、岩槻東RCより1月の例会案内。
- ⑪ 大宮西RC大宮北RC岩槻東RCより週報が届いております。



◆次回の例会◆ 令和6年1月25日(木) 外部卓話 点鐘：18:00 会場：ふな又

委員会報告

職業・社会・国際奉仕委員会 委員長 鈴木 真樹

本年度の地区補助金を利用する2024年3月に開催予定の「ホープフルキッカーズ」に向け、1月23日（火）18:00よりクラブ事務所にて炉辺を行いますので、委員会メンバーの方は出席のほどお願いいたします。



青少年・財団・米山委員会 委員長 岡野 育広

●2024年2月1日～6日に訪日する韓国3750地区インターアクトの学生たちの日程表を皆様のお手元に配布させて頂きました。ホストファミリーの家や集合場所に学生を送迎するお手伝いをして頂ける方、何卒ご協力をよろしくお願い致します。



●1月22日29日の月曜日、岩槻高校インターアクトクラブが学校から岩槻駅の間や周辺の清掃活動を行います。時間は16時頃ですのでご協力頂ける方は宜しくお願ひ致します。そして田畑会長とお話で、その時に能登半島への支援を目的として募金活動もできれば良いかなと思っておりますので、皆様にお知らせ申し上げます。

ペットボトルキャップ回収 会長 田畑 寛樹

ペットボトルキャップ回収にご協力をお願いします。
回収用の袋を用意しておきますので宜しくお願いします。



表彰

昨年1月に行われた地区大会において細淵雅邦直前ガバナーより、2022～2023年度第2770地区国際奉仕部門委員長を務められた原田晃博会員に贈られた感謝状が先日クラブに届きました。

本日あらためて会長から原田会員にお渡ししました。



卓話

米山記念奨学事業

青少年・財団・米山委員会 委員長 岡野 育広

本日は卓話者として、2021～2022年度第2770地区米山記念奨学部門委員長を務められた大宮西ロータリークラブ会長の藤嶋剛史様にお越しいただきました。

お忙しい中ありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。

大宮西ロータリークラブ会長 藤嶋 剛史 様

久しぶりの米山卓話になります。最後が米山第2月間の3月に浦和東RCでしたので2年ぶりになります。

今回このような機会をいただけてありがたいと思っております。

まず、米山奨学事業をひと言で表せと言われたら、間違いなくこちらになると思います。



「日本と世界を結ぶ人づくり」

米山記念奨学事業

「日本と世界を結ぶ人づくり」



We provides scholarships to foreign students in Japan

米山梅吉氏と東京RCの歩み、奨学事業の誕生

世界の平和を願って始まった奨学事業 その誕生の経緯とは

この事業の名称の「米山」とは、日本のロータリーの創始者、東京RC初代会長米山梅吉氏のことです。

しかし、この事業は米山氏が始めたものでも、米山氏の財産が使われているわけでもありません。では、一体なぜその名を冠するようになったのか、その理由とは—



米山梅吉氏と東京RCの歩み、奨学事業の誕生

- 1868年 明治元年2月26日（慶応4年2月4日）、東京芝田村町にて大和高取藩士 **和田竹造の三男** として誕生（4月19日 ロータリーの創始者・ポール・ハリス誕生）
- 4歳 父が逝去、母うた（三橋大社の神官の娘）の郷里へ
- 11歳 養子に望まれ、米山家から学校へ通う
- 15歳 「このまま一生地方の地主で終わっていいのかわ、もっと勉強がしたい」との一心で家出し上京
- 19歳 米山家と和解し正式に養子縁組した後に渡米、**8年間にわたる留学生活、大変な苦学** をする
- 27歳 帰国後、新聞記者を目指す。勝海舟に師事。
- 28歳 結婚を機に、日本鉄道を経て三井銀行へ入社



米山梅吉氏と東京RCの歩み、奨学事業の誕生

日本のロータリーの「祖」 福島喜三次

日本にロータリーをもたらすきっかけを作ったのは福島喜三次です。三井物産に入社し1905年に渡米、その後ダラスの三井物産現地法人支配人に就任しました。1915年頃～1920年まで、ダラス・クラブに在籍した最初の日本人ロータリアンです。喜三次の読み方については、「きさじ」「きそじ」の両説があり、RI保管の東京クラブの名簿等では英語でKISOJOと記載されていますが、奥様によれば「きさじ」が正しいとされています。が、両説あるにとどめる、とされる場合が多いようです。



米山梅吉氏と東京RCの歩み、奨学事業の誕生

1930年代 世界が戦争へ向かう

1937年 米山夫妻の夢・青山学院緑岡小学校創立。
初代校長として私財を投げてうち**児童教育に心血を注ぐ**。
教育方針としてキリスト教宗教教育、英語教育とともに、
「**平和を望む国際的な人間を育てる**」教育を行った。
(併設した緑岡幼稚園は、妻子夫人が園長を務めた)

米山氏は朝礼などで「**人からされてうれしかった事は、人にもしなさい**」と子どもたちに繰り返して話したと言います。それは米山氏がよく口にしていた「**何事も人々からして欲しいと望むものは、人々にもそのようにせよ**」という聖書の言葉を、子どもたちのためにわかりやすくしたものでした。

米山梅吉氏と東京RCの歩み、奨学事業の誕生

東京ロータリークラブの解散、緑岡小学校の操業、三井の解散…
戦争により晩年の米山氏は何もかも失ってしまったかのようでした。
しかし、米山氏の逝去から3年後の1949年、日本のロータリーはRIに復帰。さらに3年後の1952年、東京RCは日本のロータリーの礎を築いた米山氏の功績を、永遠に偲ぶことができるような、

「遺徳の無形の金字塔」

とするための有益な事業を目指し、
「**米山基金構想**」を発表。



東京RC古沢文作会長

米山梅吉氏と東京RCの歩み、奨学事業の誕生

実業家として

三井銀行に入社後、視察で欧米の銀行業務を学んで日本へ持ち帰り、近代化へ多大な貢献をした。41歳で常務取締役となり、後に三井信託（三井信託銀行）を創立、今に続く「信託」の概念を作るなど実業家として大いに活躍した。

奉仕の人

ただ財を成すだけでなく、財団法人三井報恩会の理事長として、当時は誰も近寄りたくなかったハンセン病や結核の施設を、自ら訪れその支援を行い、その他にも癌研究の助成を行うなど、「奉仕の人」として**社会奉仕事業**の旗振り役も行っていった。



米山梅吉氏と東京RCの歩み、奨学事業の誕生

- 1918年 福島喜三次と出会う（政府特派財政経済委員としてダラスにて）
- 1919年 福島喜三次帰国（東京へRCを作る特別代表をRIから委嘱）
- 1920年 **東京RC設立**（昨年10月20日で100周年）
初代会長・米山梅吉、幹事は福島氏だったが、例会に2回出席し転勤。
- 1921年 長男・東一郎氏が20歳で逝去
1926年には次男・駿二氏が21歳で亡くなり、その失望は大変なもので、その経歴が将来への夢を持つ若者への支援へとつながった。
- 1923年 **関東大震災**（奉仕に目覚める契機に）
それまでは例会は月に1回、奉仕事業も事務局まかせ。世界各国のロータリーからの支援により、奉仕に目覚めて活動が活発化。濃縮した東京への支援物資窓口だったのが当時大阪RC幹事の福島氏。
- 1924年 **スペシャルコミッショナー就任**（ガバナー代役）
- 1926年 **RI理事に就任**（1928年に第70区初代ガバナー就任）

米山梅吉氏と東京RCの歩み、奨学事業の誕生

- 1940年 **東京RC解散宣言**（RIから脱退、東京水曜会へ）
アメリカに本部を置くRCはスパイ活動等の疑いをかけられ弾圧を受け、米山氏は自ら東京RCを解散。その後の復活を目にすることはなかった。
- 1945年 **緑岡小学校焼失**（米山本邸も焼失）
心血を注いだ小学校が、空襲により一夜で灰となった。どれほどの無念だったか。その後青山学院が引き継ぎ復活するが、米山氏が再び訪れる日は来なかった。
- 1945年 終戦（9月4日、終戦直後の帝國總會へ出席し開れる）
- 1945年 10月21日、三井財閥最後の日
- 1946年 4月28日逝去（78歳）同年9月 福島喜三次逝去（65歳）
至1947年1月 ポール・ハリス逝去（78歳）

米山梅吉氏と東京RCの歩み、奨学事業の誕生

米山基金～米山奨学事業

- ◆ロータリー財団の国際奨学金が良い結果を出していると聞いて東京RCで「奨学事業」の気運が高まっていた
- ◆米山梅吉氏が生前、自身の留学経験から個人的にアジアからの留学生を支援していた
- ◆アジアから優秀な学生を招いて学費を援助し「平和日本」を肌で感じてもらいたい

世界に、二度と戦争の悲劇を繰り返さない
「**平和日本**」の理解を促すとともに、二度と戦争の過ちを犯さないという「**誓い**」だった

米山記念奨学事業の特徴

日本独自の国際奉仕プログラム、全34地区の多地区合同活動

- ◆民間最大の奨学事業（2021年910人、累計22,267人、129の国・地域）
- ◆最大の特徴「世話クラブ・カウンセラー制度」
経済的支援だけでなく奨学生の心をケアし、ロータリアンとの交流を通じて学校ではできない国際・文化交流を行い相互に理解を深め、奉仕の精神・RC精神を学び「ロータリーのよき理解者として、将来日本と母国との懸け橋になるなど、国際親善に尽くす人材を育てる」事業

（個人的に、地区米山部門の活動をしていると、青年会議所のアカデミーを非常に思い出します）

- ◆将来日本との懸け橋になりうる人材かが重要。勉学の意欲が高い、人物面や学業面が優秀である、そして、交流への意欲
- ◆経済状況、家庭状況は評価の対象外（非救貧型）
…よく言われる意見
 - ・日本の貧しい学生の支援に変えた方が良いのでは？
 - ・日本の貧しい学生にも対象を広げたらどうか？
→それは、「米山記念奨学事業」ではありません。別の事業を新しく作ってください。

米山奨学事業は、平和のためにつくられた「国際奉仕事業」であり、あくまで懸け橋となる「外国人留学生」のみを支援します。

法人寄付をしてみませんか？

法人所得の約4%ほどが損金に

例①資本金1,000万円、所得金額 500万円の場合

一般損金算入限度額 = (1,000万円×0.25% + 500万円×2.5%) × 1/4 = 37,500円
特別損金算入限度額 = (1,000万円×0.375% + 500万円×6.25%) × 1/2 = 175,000円

合計 **212,500円** まで損金算入可能

例②資本金1,000万円、所得金額1,000万円の場合

一般損金算入限度額 = (1,000万円×0.25% + 1,000万円×2.5%) × 1/4 = 68,750円
特別損金算入限度額 = (1,000万円×0.375% + 1,000万円×6.25%) × 1/2 = 331,250円

合計 **400,000円** まで損金算入可能

ロータリーのよき理解者として、 将来日本と母国との懸け橋となる

この事業の成功には、奨学生とロータリアンの良好な関係が欠かせません。奨学生と接する際にはぜひ、「自分の子どもや孫が海外に留学したとき、現地の大人がどんな風に接してくれたら嬉しいだろう」そんな風に考えてみてください。

それは前述した、米山氏がよく口にし、子どもたちに教えた「何事も、人々からして欲しいと望むことは、人々にもそのようにせよ」という言葉、そのものではないでしょうか。

それぞれの奨学生に、それぞれの事情

日本で天涯孤獨になった子、学費が払えず東京の有名私大から埼玉大へ移った子、米山奨学金があったから日本に残った子など、皆一見ではわからない事情があり、思っている以上に若い人たちの将来を助けています。

長い目で。あたたかい目で。

彼らが「懸け橋」となるのは、成長し社会的地位を得る、もっと先の事です。この事業は「未来に種を蒔く」事業であり、皆様のお子さんやお孫さんが中心となる社会に国際理解、親善、平和の実を結ぶ事業です。

奨学事業の価値は、どんな学生を採用したかで決まると言われます。米山奨学事業ではさらに、どんな風に育てたか、育ててくれたかが重要です。

ある大学の先生が、「ウチには何にでも興味一杯で、いつも目をキラキラさせてる留学生の子がたくさんいるんです」と言っていたのが心に残っています。米山部門はそんな子を一人でも多く採用し、将来の「架け橋」に育てられるよう、各クラブのお手伝いをしてまいります。

皆さんが今以上に「米山」に興味を持っていただき、それが貴重な「ご寄付」につながれば幸いです。



スマイルBOX

ピジター

大宮西RC会長 藤嶋剛史 様

「久しぶりの米山卓話、きっとこれが最後かと思えます。貴重な機会を頂きありがとうございます。皆様がもっと米山を好きになって頂けたら幸いです。」

メンバー（50音順）

- 池田智昭 本年もよろしくお願ひいたします。
- 岡野育広 藤嶋会長、本日の卓話をよろしくお願ひ致します。
- 小林 篤 藤嶋会長、本日よりよろしくお願ひいたします。
- 鈴木真樹 藤嶋会長、本日は宜しくお願ひします。
- 関根信行 藤嶋会長、卓話よろしくお願ひ致します。
- 田畑寛樹 親愛なる皆様、こんにちは。先日は新年例会にたくさんのご参加下さいまして誠にありがとうございます。本日は藤嶋会長より卓話をいただきます。とても楽しみにしております。皆様本日も何卒宜しくお願ひ申し上げます。
- 津多一幸 本日よりよろしくお願ひします。
- 中村 正 お客様ようこそ！
- 原田晃博 藤嶋大宮西RC会長、卓話宜しくお願ひ致します。
- 眞々田悟 本日も宜しくお願ひ致します。
- 三浦宣之 藤嶋さん本日は宜しくお願ひします。

出席報告

| 会員数 | 出席数 | 免除者 | MU | 出席率 |
|-----|-----|-----|----|--------|
| 21 | 11 | | 4 | 71.43% |

スマイル報告

| | |
|-----------|----------|
| 本日のスマイル合計 | 18,000円 |
| 年間累計額 | 399,000円 |